

1 議 事 日 程

[平成27年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成27年3月13日

午後 2 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第29号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第30号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第31号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第32号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第33号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について
日程第7 議案第34号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について
日程第8 議案第35号 平成27年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第9 議案第36号 平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	原 田 久美子 議員
委員	陶 山 良 尚 議員	委員	神 武 綾 議員
〃	上 疆 議員	〃	芦 刈 茂 議員
〃	小 畠 真由美 議員	〃	長谷川 公 成 議員
〃	藤 井 雅 之 議員	〃	後 藤 邦 晴 議員
〃	不 老 光 幸 議員	〃	渡 邊 美 穂 議員
〃	小 柳 道 枝 議員	〃	佐 伯 修 議員
〃	村 山 弘 行 議員	〃	福 廣 和 美 議員
〃	橋 本 健 議員		

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（36名）

市長	井 上 保 廣	副市長	平 島 鉄 信
総務部長	濱 本 泰 裕	地域健康部長	古 川 芳 文
市民福祉部長	中 島 俊 二	建設経済部長	辻 友 治
上下水道部長	松 本 芳 生	教育部長	堀 田 徹
会計管理者	今 泉 憲 治	総務課長	友 田 浩
経営企画課長	山 浦 剛 志	公共施設整備課長	原 口 信 行
文書情報課長	百 田 繁 俊	管財課長	久保山 元 信
防災安全課長	宮 原 広富美	地域づくり課長	藤 田 彰

人権政策課長兼 人権センター所長	諫 山 博 美	元気づくり課長	井 浦 真須己
文化学習課長併 中央公民館長併 市民図書館長	木 村 幸代志	スポーツ課長	大 塚 源之進
生活環境課長	田 中 縁	市民課長	田 村 幸 光
税 務 課 長	吉 開 恭 一	納 税 課 長	伊 藤 剛
福 祉 課 長	阿 部 宏 亮	保育児童課長	中 島 康 秀
介護保険課長	平 田 良 富	国保年金課長	永 田 幸
都市計画課長	今 村 巧 児	建 設 課 長	眞 子 浩 幸
観光経済課長	大 田 清 蔵	社会教育課長	井 上 均
学校教育課長	森 木 清 二	文化財課長	菊 武 良 一
会 計 課 長	緒 方 扶 美	監査委員事務局長	渡 辺 美知子

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長	篠 原 司	議 事 課 長	櫻 井 三 郎
書 記	松 尾 克 己	書 記	力 丸 克 弥
書 記	山 浦 百合子		

再開 午後2時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、こんにちは。

ただいまから休会中の予算特別委員会を再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第28号「平成27年度太宰府市一般会計予算について」

を議題とします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から進めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

事項別明細書56ページの歳出、1款議会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

58ページ、2款総務費、1項1目一般管理費について質疑はありませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 59ページの一番下から2番目の工事請負費、防犯カメラの設置の関係でありますけれども、これ一般質問でも言いましたけれども、市長のほうからも計画的に防犯カメラを設置するということでしたが、100万円で一カ所しかつからないということですので計画的にするならばやはり最低でも5カ所ぐらい、できたら10カ所とまでも一般質問で言いましたけれども、そういったことを含めて今後これが上がっておりますけれども、ぜひ補正を組んでいただいてやっていただければと思っておりますので、よろしく願います。それだけです。

○委員長（門田直樹委員） 回答は。

上委員。

○委員（上 疆委員） 意見。要りません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今の工事請負費の上の13節委託料で、防犯カメラの保守点検委託料ですか、これは専門家に委託しているんでしょうけれども、例えば月とか半年とかに1回とかその期間というんですか、その防犯カメラのビデオですか、それは何か月ごとになさっているのか、委託会社というのはどういうところがなさるのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） まず、期間につきましては年に1回ということで考えております。点検につきましては、設置しました業者、まだこの業者は決めておりませんが、今後決めますけれども、そういうことでハード、それとSDカードがございますのでそのチェックも含めまして年に1回行うようにしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） もし何か事故とか何かがあった場合は、即時それは開示するんですか。見ることができるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） 警察からの要望でデータが欲しいとかという要望がございまして、その都度データの取り込みをしておりますけれども、その中でも機械のほうにふぐあいがあればその都度当然対応していくということになります。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今防犯、いろいろなテレビでも放映されていますが、防犯カメラの活用というのがすごく大事になっているようですので、そういうところも含めたところで安全に努めてもらいたいと思います。

答弁は要りません。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 同じく防犯カメラの点検委託料なんですけれども、審査資料の1ページにも防犯カメラの設置箇所が載っておりますが、私が審査資料を要求したのではないので要求された委員の方に申しわけないですが、活用させていただいて質問いたしますけれども、当然また新規のところでは1台の設置予算が上がっている関係からいけば、この防犯カメラの保守点検の委託料等も今後防犯カメラが増えていくことによって一定の増額といたしますか、今審査しているのは平成27年度ですが、平成28年度、平成29年度といけば金額は大きいものではないですけれども微増というような状況を続けていくのかなというような想像をしますけれども、そういったところへの見通しといたしますか、現状はどういうふうな担当課として考えておられるのか、お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） 基本的にはこの保守点検は2年あるいは3年に一度程度の保守点検をするように考えております。ですから、台数が増えればその金額も当然上がってこようかと思っております。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） それと、あわせて防犯カメラに関しての維持費といたしますか、例えば市

役所の庁舎だったら自動販売機の電気代は設置の業者さんが払うような別にメーターがついて
いますけれども、そういった部分の防犯カメラの維持費の部分に入るのかわかりませんが、
も、そういった予算がこの予算書の中にはどういう形で計上されているのかまでご答弁くださ
い。

○委員長（門田直樹委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（宮原広富美） 維持費につきましては、11節需用費の光熱水費、その中に電気
代、電気料が入っております。それと、あとは消耗品費がSDカード、これも壊れますのでそ
の部分が入っておるというところでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

続きまして、60ページ、61ページ、1目まで質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 61ページ、一番最後のところの普通自動車624万5,000円ですが、これは
あの債務負担行為で上がった市長用の車640万円がこういうことになっているという理解
でよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） そのとおりでございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） この中にはいわゆる税金というかそういう重量税なりというのは入って
いるのか入っていないのか、その次のページに自動車重量税というのが2万5,000円あるわけ
ですが、そのあたりの関連をお聞きします。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 取得に伴います税金につきましては、63ページに記載しております公課
費、こちらのほうになります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 六百何十万円の車の公課費が2万5,000円ぐらいで済むんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 最初の取得分につきましてはこちらの備品購入費の中に入っております
が、それ以外の税金という部分がこちらに抜き出た形になっております。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 前も聞いたと思うんですが、車は何を買われるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） クラウンマジスタと考えております。今の現在の車種ですね、そちらと同じです。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 61ページの一番上ですが、秘書事務費の旅費の関係ですが特別旅費170万円、中身をお知らせください。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 県市長会春秋の出張分と九州市長会春秋の出張分、それと全国市長会の理事市に平成27年度になりますので、それに関連する出張の旅費になります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 今まではこの特別旅費で払ってなかったような気がするんですが、新たな分は別として県とかそういう市長会は別途あったんじゃないんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 予算編成の関係で一部組み替えをしておりますので、その分でこちらに入っている形になっております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、62ページ2目から、続きまして65ページの3目まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、64ページの4目、5目、6目、67ページの6目まで質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 65ページ、広聴広報費のところでお尋ねしますが、ホームページの関係がここに上がっていると思うんですが、私何回も一般質問等で、大野城が一番上に市民の皆様のご意見、ご提案、筑紫野市は市長の部屋の下に同じようにご意見、ご提案という項目があるということだけれども、太宰府市の場合は2ページ目の住所が書いてある電話番号あたりが書いてある一番最後にご意見、ご提案はというふうになっているわけで、何とかこれはもうちょっと目につきやすいところにする必要があるんじゃないかというふうに申し上げておりましたが、それは改善されるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） ホームページのレイアウトの関係でございますけれども、これ一般質問の中でもお答えしたんじゃないかと思っておりますけれども、今のホームページの賃借料といいますか、そちらのほうが平成28年8月までとなっております。新たなものに更新する際にそういったところも検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そのぐらいのことはすぐできることではないかと、平成28年8月ということは、今から1年半あるわけですね。そのぐらいのことはすぐできるんじゃないかと思えますし、やっていただきたいと思えます。

○委員長（門田直樹委員） 回答は。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そら、してくれればいけれども、ないでしょう。

○委員長（門田直樹委員） どうします。

経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） 今おっしゃったご意見も参考にさせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 済みません、私から。

芦刈委員と少し違う考えですけれども、じっくり時間かけて。今のサイトのリンクをたどっていてもなかなか行き着かんとです。でも、検索すると一部ひっかかったりするから、それはやっぱりサイト構成がやや問題があるし、サイトマップなんかもなかなか実情を反映していないような気がします。だけん、1年かけてもいいですからじっくりね、ほかを研究して、いい、使いやすいものにしていただきたいと思えます。要望です。

ほかにございせんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） もう一つ、フェイスブックが去年かそこらにはあったと思うんですが、そのフェイスブックはないんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（山浦剛志） SNS関係につきましては、現在ツイッターのほうだけは今のところ起動させております。フェイスブックについては、今のところはまだ導入の予定はございません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほか、よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 6目まで行きましたので、66ページ、7目、69ページまでですね。7

目に関して質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 67ページの公共施設整備関係費のところですけども、ここに係ってくるかなという形でお伺いしますが、積立金で公共施設整備基金が積み立てもされていますけれども、以前から議会の答弁等でも出てきております公共施設の白書はどういうふうになっているのかお示しを、ご答弁をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 公共施設整備課長。

○公共施設整備課長（原口信行） 白書の関係でございますけれども、これは平成26年9月19日の議会の決算特別委員会のごときにご報告させていただきましたけれども、基本的に公共施設等総合管理計画の中で包含していくというような形で回答させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 済みません、その回答のときにいつごろまでって期限というか、いつごろというような目途があったかなかったか、私の記憶がちょっと今ないもんですから、その辺をあわせてご答弁いただきたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 公共施設整備課長。

○公共施設整備課長（原口信行） 平成28年度を目途に計画を策定するというふうにしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） ということは、平成27年度のこの予算に関しては、そういった整備に向けての予算措置というのはこの公共施設の関連の部分ではとられてないというふうに理解してよろしいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 公共施設整備課長。

○公共施設整備課長（原口信行） 歳入のほうに債務負担行為で計上しております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにありますか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 69ページいいんですか。

○委員長（門田直樹委員） 一応7目までですが、よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 69ページ、上から何行目かの公有財産購入費、複合施設用地購入費、7,500万円というのは何なのか。

（「国土館」と呼ぶ者あり）

○委員（芦刈 茂委員） 国土館。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（久保山元信） 旧国士館跡地ですね。あの分の用地費でございます、2回目部分になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） ほかよろしいでしょうか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） もう一つ。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 最後のほうの工事請負費の臨時工事950万円というのは、これは何でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 管財課長。

○管財課長（久保山元信） 臨時工事費、15節ですね。950万円の部分でございますが、この分については庁舎関連の工事関係のほうを予算化させていただいています。具体的には、平成27年度は総合窓口が設置されていることで、この分の工事費と1階南側のLED照明関係、それから2階3階のタイルとかカーペット等張りかえ等、それと1階2階のトイレの自動洗浄、それから外壁とか屋上の防水関係の工事費を合わせた額ですね、950万円臨時工事費として計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかよろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、68ページの8目契約管理費、次の71ページまでですね、8目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9目、10目、73ページまでですね、1項の最後まで質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 73ページですけれども、一番上の職員採用試験の関係でもないんですが、今回平成26年度で退職者数が何名なのか、その中で部長、課長がわかればそこまで、その他はいいんですが、その数何名ですかというのを聞きたいのと、あわせて新規採用職員は平成27年度は何名採る予定なのかお知らせください。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 平成26年度退職者につきましては、全体で28名でございます。部長が3名、課長が8名になっております。新規採用職員につきましては、19名採用をいたします。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかよろしいでしょうか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 一般質問の中で市役所の中で英語、中国語、韓国語ができる人は何人いるかということを知っていて、そういう統計はありませんということにちょっとびっくりしたわけですが……。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員、どこに対応した質問ですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 職員採用試験負担金のところですか。

○委員長（門田直樹委員） 続けてください。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 職員負担のところですが、新規19人採用する中でそのあたりの数字は具体的にあるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 資格の中にそういう語学の部分については問うておりませんので、具体的に何名という把握はしていません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） これは要望ですけれども、国際観光都市太宰府ですから、やっぱり外国語ができる職員というのは積極的に採用するという大きな柱を立てていいんじゃないかと思いますが、要望いたします。

○委員長（門田直樹委員） 要望ですね。

ほか、よろしいでしょうか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません、今の上委員の関連ですけれども、平成26年度に28人退職されて新規で19人採用ということですが、純粋に正職の方が9人減るといような形になると思うんですが、ここの補充の方法はどのように考えられているのか、お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 退職されます職員のうち再任用ということで再度市役所に勤務される方もおられますので、その人数がフルタイムが14人でございますので、数字的にはそのマイナス分を補充した形になっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかがございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、72ページの2款総務費、2項企画費、1目企画総務費、ページがずっと行きまして77ページ、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目公文書館費、3目交流費まで、79ページの3目までに
ついて質疑はありませんか。

よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 国際交流関係ですが、79ページ国際交流、真ん中19、負担金補助及び交付金、国際交流協会補助金というのがあるんですが、国際交流協会の今の職員の中で先ほども聞きましたが英語、中国語、韓国語ができる人は何人いますか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 現在事務職員で韓国語が堪能な職員が1名おります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今ご答弁で1名というお話なんですが、ここに交流員の賃金が出ている
んですよ。それと、住宅が出ているんですけれども、これ韓国の扶餘郡のほうからお見えに
なっている交流員のことなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 現在3月10日から勤務をされております、新しい国際交流員の関連予算
でございます。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） そうなりますと今、国際交流の補助金の中に含まれている国際交流協会
の事務嘱託さんがいらっしゃると思うんですが、これはどこから捻出されているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 国際交流協会事務局の職員分につきましては、国際交流協会の予算のほ
うから支出をしております。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今のご答弁でその外国語ができるの方1名っておっしゃるけれども、そ
の国際交流協会採用された方もたしか外国語にはたけてらっしゃるって聞いているんですけ

れども。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 先ほどの芦刈委員の質問については職員ということでしたのでそれで答えておりますが、国際交流協会事務局ということになりますと現在雇っている嘱託職員につきましては英語が堪能でございますので1名プラス、それに国際交流員は嘱託職員ですので、それを足しますと合計で3名という形になります。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） ありがとうございます。

できるだけ芦刈委員さんがおっしゃっているように、国際都市になりつつありますのでお力を入れてもらえればなおいと思います。

よろしくをお願いします。

それともう一点、お願いします。

友好都市関係費の旅費なんですけど、144万5,000円あるんですけども、今年のはたしか多賀城市とか友好都市関係が周年を迎える年じゃないんでしょうか。その辺を含んだところでこの金額が出ているんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） その10周年分につきましても、一部骨格でということでは計上させていただいておりますが、その分も含んだところプラス中津市との新たな交流の分も含めたところの予算計上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 国際交流員ですが、過去2回というか2人ぐらい何か任期途中でやめられたり何かうまくいってなかったなというように思っているわけですが、今回私も初めて聞いたんですが扶餘から来られたということで今までの反省と新しく変えたということと、その方は何年なんですか。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 前の国際交流員の方につきましては体調不良ということで帰国をされております。今回来られた方につきましても扶餘郡の推薦ということでございますが、出身はテグでございます。任期的には3年ということで話をさせていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 今回これと関連してですが、行く行くはやっぱり太宰府からも扶餘郡に対して1名ぐらい相互交換みたいな形で行って、やっぱり例えば行った文化財課の人が扶餘郡にいるけれども全体的な韓国の考古学の人たちといろいろ交流を図るなり、そういうネットワ

ークをしてお互いの双方向の国際交流を扶餘郡と図るべきじゃないかと思うし、今後の新しい育てていく人材を1年なり2年なりお互い友好関係の中で提携して、こっちから向こうに行く、向こうからもこちらに来る、そしてお互いに交流して今後に生かして、韓国の考古学も非常に進んでいると思いますし、そのあたりの勉強をしてネットワークをつくっていくというふうなことを私は考えていいんじゃないかなと思うし、太宰府の文化財課にそういう国際的な視野を持った人が育ってほしいなというふうに思うんですが、これは希望になるでしょうか。もしくはどっかに返事してもらえればいいですけども。

○委員長（門田直樹委員） 見解を求めんでよろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そら、どなたかからご意見いただければいいですが、回答を。

○委員長（門田直樹委員） 総務課長。

○総務課長（友田 浩） 今芦刈委員が言われた分につきましては、新しい国際交流員も着任されておりますので、語学研修から職員のレベルアップを図っていこうということを平成27年度から計画をするようにはしております。来年が多賀城市10周年ということでございますので、復興からも5年ということになります。多賀城市の派遣のほうをまた充実させていくのをまずはということで今計画はしておりますが、委員さんが言われた分につきましては今後検討させていただきたいと思っております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

一言でいうたら相互交流は考えているかでいいんでしょう。

総務課長。

○総務課長（友田 浩） そうですね。

○委員長（門田直樹委員） そう言っていただけるとスムーズになります。

よろしいですか、ほか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、78ページ、4目女性政策費、81ページまでですが、4目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

それでは、5目地域づくり推進費、ページが83ページまでですが、5目について質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 確認ですけれども、コミュニティバスの運営費に関して、今回は予算を見ると車両の新しい買い上げといますか、買いかえというようなそういうような予算が見当たらないと思うんですけども、この平成27年度についてはそういう予定はないというふうに理解してよろしいですか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 平成27年度10月に車両1台購入するようしております。予算につきましては、運行補助金の中に西鉄に対しての支払いということでこちらのほうに入っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 済みません、地域線のほうなんですけれども、現在値段が少しずつ上がっているという話を聞いているんですが、今の値段が幾らなのかということと、それから今年とか近い将来また値上げをするような予定があるのかお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 地域線でございますが、湯の谷につきましては150円頂戴をいたしております。連歌屋につきましては200円を頂戴しております。これは、利用者がほぼ地域の方々によるものであるということと、運行費から算出しまして計算をして、もちろん地域の中で検討委員会を開催しまして料金をその中で決定して了解をいただいて決定したものでございます。

今後について値上げする予定につきましては、現在まだ検討には入っておりませんが、消費税等のアップに伴いまして何らかの方向性というのは今後必要になってくるだろうというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今のボランティア関係費と地域コミュニティ推進費の中の委託料が13節で2つ上がっているんですが、この415万円、それと311の13の施設管理委託料、これどっかの団体だと思うんですが教えていただけたら助かります。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） ボランティア関係費の委託料でございますが、これはNPOボランティア支援センターをNPOボランティアネットワークのほうに委託をいたしております。その費用でございます。

次に、地域コミュニティ推進費の中の委託料でございます。施設管理委託料につきましては、南コミュニティセンター、南小学校にある施設でございますが、その管理について私どものほうで契約をいたしておりますので、今回計上をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかよろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 関連資料でコミュニティバスに戻りますが、運行補助金が1億4,800万円、年間乗車人数が47万8,000人ということで、これ割りますと補助金と人数で割ると308円か309円になるかと思うんです。

○委員長（門田直樹委員） 追加資料のことですね。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい、追加資料です。追加資料1ページです。1億4,800万円を47万人で割ると309円ぐらいになると思うんですが、収入が100円あるいは100円ちょっとあるわけでしょうから、結局1人当たり400円ぐらいの計算になっていると。

そのあたりのところ、300円近くのお金がかかっているだろうと思うんですが、割って計算して100円乗せると400円近くの計算になるんですがという理解でいいんでしょうか。

まほろば号、1ページですね。

○委員長（門田直樹委員） はい。

○委員（芦刈 茂委員） まほろば号の1億4,100万円何ぼで、乗っている人数が46万人というのを割ったら幾らになるんですかね。ちょっと計算機持っている。

○委員長（門田直樹委員） 電卓で計算すればわかるんじゃない。

○委員（芦刈 茂委員） 300円前後でしょう。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 単価としましては307円でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 307円ですよ。そしたら、その補助金を出してなおかつ100円の収入が西鉄にはあるわけでしょう。だから、300円何ぼと100円の収入、つまり400円の収入が西鉄にはあるというふうな理解でいいんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 平成25年度で申し上げますと、運行経費が1億8,733万3,840円、うち運賃収入が4,577万2,877円、差し引き太宰府市が補助額、今こちらに載せております金額1億4,156万円でございます。ですから、計算上今言われた金額になろうかと思えます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） ちょっとそれがどうなのかと、いろいろ考えなきゃいけないんじゃないかと思えますということです。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 地域コミュニティ推進費の委託料ですね、自治基本条例制定に係る業務委託料、これ自治基本条例、大体いつ制定されるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 昨年この時期に平成26年9月までには目途をつけたいということでお話をさせていただいておりましたが、現状を申し上げますと現在まだあと少し残しております。大きく言わせていただければ平成27年度の早い時期、今回の審議委員さんの任期が10月31日でございますが、これまでには目途がつくということで今進めておるところでございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員、よろしいですか。
地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 済みません、追加します。審議委員さんからの答申をいただくのが今年10月31日までにはいただきたいということで進めております。

（「発言してください」「10月31日……」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 福廣委員。何か発言あるんですか。

○委員（福廣和美委員） ありません。

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、不規則発言はやめてください。
陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） この自治基本条例制定に係る業務委託料ですけれども、今までですね、どのぐらいかかったか教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 策定業務委託につきましては、3年間で695万円でございます。幹事会の支援業務委託が234万3,600円でございます。これに審議会等の運営支援補助業務が311万1,180円、審議会報酬、費用弁償がそれに加わってまいります。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。
陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） そしたらトータル1,000万円を超えるということでもいいんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） トータルで費用弁償まで含めまして1,421万2,080円でございます。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） それまでかかって、この自治基本条例を制定する意味があるのかなと思うんですけれども。今審議会のほうで審議されておりますけれども、私は必要ないのかなと、それだけお金かけて何かメリットがあるのかなと思いますけれども、その辺。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 自治基本条例と申しますのは、市民と行政と議会とこの新しいル

ールを決めて、今から直面するであろう行政の問題点等について一緒になってやっていきましょうというところに主眼を置いたものでございます。金額は確かにかさんでおりますけれども、これも市民会議が22回、十分に審議を重ねて市民会議の中から意見をいただいております。幹事会につきましては48回開催をさせていただいております。審議会につきましても先月2月で一旦閉じましたけれども、22回の審議をいただいております。1条ごとに非常に多くの意見を出し合いながらこの条例を策定しております。準備をしております。その辺どうぞお含みおきいただきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 陶山委員。

○委員（陶山良尚委員） 今審議会で審議されておりますのでこれ以上は申し上げません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いろいろお気持ちというかな、考えがあるのはよくわかりますけれども、一般質問でね、言うべきかなと思いますね。というのは、まだ継続的にずっとやってきて我々もその事業を認めて今までやってきたわけですね。お金が幾らになつたからもうやめろとかという話にはならんと思うし、いずれ答申があつてまた提案という形になると思うので、そのときに十分審議されたらと思いますけれどもね。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません、戻りますけれども、コミュニティバスのところで地域線のほうで、市民の皆さんが結構乗ってあつて満員になっているときがよくあるというようなお話も聞いていて、やっぱり同じ方がずっと乗ってあるみたいなんですよね。新しく乗ろうと思つたらなかなかいつも同じ方が乗っているんで乗りづらいとかというようなお話とかあつているんですけれども、そこら辺の人数が多くてもっと増便をとかというようなお話はあつていましてしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） 湯の谷地域線でございますが、朝の便がどうしても乗りこぼしの可能性が多いと、また五条から戻ってくる便も時間によっては乗りこぼしができるということを受けておまして、その対応策といたしましては、湯の谷につきましては9人より多い場合はタクシーを運行させて追走させているということがあります。また、今回4月1日からでございますが、朝一番の便がどうしても9人以上乗るということを踏まえまして朝の9:00発の便を30分早めて8:30発、また一番お客様が少ない13時の便を9:10発の第2便として振り分けて今運行する準備を進めております。これも、湯の谷の地域の方々と話し合つて決めまして、回覧等自分たちでつくって周知をしていくという作業もさせていただいているところでございます。一応、対応は考えてさせていただいております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今おっしゃったタクシーの追走便というのは、これは予算としてはどこに振り分けられているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） これは運行費として計上を一緒に合算で上げさせていただいております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

よろしいでしょうか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 今その運行補助金に関連して、今やりとりの中で気になったんですけども、それは湯の谷線を運行している運行先ときちんと協議をした上で、そういうふうな形になっているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 地域づくり課長。

○地域づくり課長（藤田 彰） これは運行当初から乗車定員漏れが起きるという想定のもとに取り決めを行っておりまして、1台当たり初乗り料金での運行と。運賃については、お客様からは通常どおり150円ということで契約をいたしております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 進んでいいですか。

それでは、82ページの2款総務費、3項徴税费、1目税務総務費、2目賦課徴收費、85ページまでですね。3項について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。

86ページ、2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費、1目、2目、89ページまでですね。4項について全体について質疑はございませんか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 87ページの990、住居表示の件なんですけど、これは大体順番でなさっていると思うんですが……。

○委員長（門田直樹委員） 991やろ。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 一番下。

そこは今の進捗状況を教えてもらえませんか。まだ掛けているところがあるようにありますので、全域をきれいに張りかえるというのはどれぐらいで終わるのでしょうか。永久に終わらないんでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） 住居表示の今後の計画ですが、住居表示は市街地が形成された地域を対象としていますので、現在のところも計画はございません。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 計画はないというけれども、住居表示を切りかえているところがありますよね。あの紫色だったりグリーンだったりありますよね。だから、ばらばらなところがあるように見受けるんですが、その住居表示って何か縦長であったり横長であったりあるんですが、そのことじゃないんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） 大変申しわけありません、勘違いいたしました。

住居表示板につきましては、平成26年度とか平成27年度、計画的にですね、平成26年度につきましては五条三丁目から六丁目、青山一丁目から四丁目、平成27年度につきましては梅香苑、梅ヶ丘、青山の一部で張りかえをいたしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） その990の次のページ、89ページの工事請負費ですね、町名街区案内板設置工事なんですけど、これは新規ですかそれとも立てかえですか教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） これは今市内100カ所ございまして、年間3カ所ずつ立てかえをしている部分でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにもございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 1目ですね、戸籍住民基本台帳費のところですけども、一番下の19節の負担金補助金の社会保障・税番号関連事務負担金というのは、金額は事務費の負担金の中では大きいなというふうに思うんですけども、これはどういった内容でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） これにつきましては、マイナンバー制度に基づきまして地方公共団体情報システム機構に払います通知カードの作成費並びに発送費ですね。あと個人番号カードの製造費とか受け付けに係ります人件費の予算でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 個人番号というのが出たのでここでお聞きする場所だろうと思うんですが、ほかの町や市ではコンビニで印鑑証明とか住民票がとれるというふうになっておるわけですが、太宰府市はそんなになっておりませんが、そういうものを何か進めるような予算というのは今回計上されているのでしょうか。あるいは、今後どんなふうにそのあたりのお考えをお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） 今年度には予算は計上されておりませんが、マイナンバー制度が確実に普及すれば将来に当たって、本人確認ができるようになりますので、コンビニ交付もできるようになる制度でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 87ページ、今の住民基本台帳のところの13委託料の住民実態調査について教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 市民課長。

○市民課長（田村幸光） 住民実態調査につきましては、納税課並びに国保年金課から、実際この方が本当に住んであるのかということシルバー人材センターのほうに委託して調査をさせていただいているところでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

88ページ、2款総務費、5項選挙費、1目、2目、3目、4目も、95ページの7目まで含めまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） いいですね。

それでは、94ページから2款総務費、6項統計調査費、1目、2目までですね、97ページまでに関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、96ページ、2款総務費、7項監査委員費、1目、99ページ

までですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3款民生費に入ります。1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、ずっと行きますと103ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2目老人福祉費。

105ページまで2目についてよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3目障がい者対策費、107ページまでですね、3目について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4目障がい者自立支援費、ページは106ページから109ページまでですね。4目についてよろしいでしょうか。

上委員。

○委員(上 疆委員) 109ページの19節の負担金、補助金の中の2つにまたがっていますが、まず地域活動支援センター運営費補助金は前回新年度に載ったんですが、新しく一番下側に筑紫地区地域活動支援センター負担金、これについて金額が500万円ぐらい出ているんですが、このセンターの場所と関連内容をどう違うのかですね、前回の分とあと新規の分ですね。その辺を。

○委員長(門田直樹委員) 福祉課長。

○福祉課長(阿部宏亮) 今お尋ねの下のほうの筑紫地区地域活動支援センター負担金については、今回こちらのほうで計上いたしておりますが、これまでは春日高校の前ところに筑紫自治振興組合というのがありまして、その中の筑紫地区地域活動支援センターつくしぴあとというところを4市1町で委託しておるところでございます。今回負担金の中で、障がいの部分だけをこちらのほうに分けて、522万9,000円を計上させていただいております。

それから、上の段のほうの地域活動支援センター運営費補助金、これは今体育複合施設が建っておりますけれども、そちらのほうの地域包括支援センターの横にございますNPO法人太宰府障害者団体協議会のほうがやっております、あす・ラック工房への補助金という形になります。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにご覧ですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5目からですね。5目援護関係費、111ページ、よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、6目、7目、8目、111ページまで、質疑はございませんか。

芦刈委員。

○委員(芦刈 茂委員) ひとり親家庭等医療対策費、いいんですよね。

○委員長(門田直樹委員) 7目ですね、はい。

芦刈委員。

○委員(芦刈 茂委員) ごめんなさい、何回も聞いとるかもしれませんが、ひとり親家庭というのは何件ですか。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(永田 幸) ひとり親家庭の平成27年2月末現在でございませうけれども、世帯数で申しますと合計で589世帯でございませう。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにございませうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、112ページ、3款民生費、1項社会福祉費、9目国民年金費について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、10目人権政策費、115ページまでですが、資料要求もありますが、10目について。

藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 審査資料の2ページですね、運動団体の補助金の関係なんですけれども、これはこの任期中何度も資料も出していただいていたし、話もさせていただいていますが、一応任期中最後の予算委員会なのでお聞きしますけれども、これ縮小に向けて当然対応されているというのは理解していますけれども、どういう形で進められているのか詳しくお聞かせください。一つの団体に対してそういう協議を行っているのか、それとも団体ごときちんと窓口を持って対応されているのか、そういった方法のところをご答弁ください。

○委員長(門田直樹委員) 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長(諫山博美) この補助金につきましては、現在の補助金額が平成26年度、平成27年度、平成28年度の金額に協議のほうは進んでおります。平成29年度以降につきましては、4市1町で構成しております筑紫地区人権・同和行政推進協議会というところでまた協議になろうかと思っております。協議の中身につきましては、それぞれの団体の中身につきまして協議を進めておるところでございませう。平成28年度までに平成29年度以降の補助金をどうするかについては、また4市1町の協議が行われる予定でございませう。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 当面その補助金は存続していくというふうに、今何か答弁で聞くととれるんですけども、そういうふうな認識でよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） 平成28年度までは、この補助金額同額がまた平成28年度の予算に上がってこようかと思いますが、平成29年度以降につきましては、金額等につきましてはまだ協議が進んでおりませんので、平成28年度中に今後補助金をどういうふうにしていくのかという協議を4市1町の担当のほうでするようになろうかと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 戻ってきたらまたやります。

○委員長（門田直樹委員） はい。

それでは、11目人権センター費、117ページまでですが、11目について質疑はございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 11目人権センター費となつとるわけですが、その明細として南隣保館と南児童館と南体育館というふうになっているわけです。人権センター費ということであれば、人権センターというのがあって、そこにセンター長がいるのか、そのあたり、ちょっと済みませんが、4年たつとって自分でも恥ずかしいですが、改めてこんなことを聞くのも恥ずかしいですが、そのあたりの関連というのはどんなふうになっているんでしょう。これが当たり前と今まで思ってきたけれども、人権センターというのが太宰府市にあるのかどうか。

○委員長（門田直樹委員） 名前にそごがあると言いたいとですね。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そのあたりのお答えというかは、私が不勉強なのか、済みません。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） 人権センターにつきましては南隣保館、それから南児童館、南体育館を合わせまして総称という形で人権センターというような名称にしております。実際の建物は3つございます、それぞれ。先ほど言いましたように南隣保館という建物もありますし、南児童館もありますし、南体育館もあると、その3館を合わせて総称が人権センターという名称になっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） それは、市としての人権センターという意味となれば、人権センター長というのが市の職員として存在しているのかどうか。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） この人権センターのうちの南隣保館それから南児童館の管理運営につきましては、社会福祉法人みらいというところに委託をいたしております。このみらいという社会福祉法人は、隣保事業を県のほうから認可されている唯一の団体でございますので、こちらのほうに委託をお願いしております。それから、南体育館につきましては、これは入札を行いまして管理運営をお願いしていると、通常の方にですね。そういう状況でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 南児童館についてなんですけど、資料請求の中、2ページなんですけれども、月ごとの利用人数を出してあるんですけど、私が請求したわけじゃないんですけど、この人数が、例えば毎月30日とかというふうな形で割ると、平均的に子どもが6人とか7人というような利用になっているんですけども、今やっぱり子どもたちが集う場所とか、遊ぶ場所がなかなか少ないというのは、お母さんたちの声でもありますので、一般質問でも取り上げてきましたけれども、この南児童館はできるだけたくさん子どもたちが集えるような企画をとかというようなことをお話ししましたけれども、何か今改善をされているのか、また来年度ですね、何か改善策とか新しい企画、楽しいものがあるのかということをお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 今書いている、人数は南児童館のほうで行っている学習に参加する児童数を書いております。日にちで書きますと大体平均で10名程度の参加がございます。特にこれにつきましては、多くの参加の方が、おられるほうが私どもも望んでいますので、ただ、その方策というのはまだ考えがなかなかついていないような状況でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） この南児童館には児童指導員ですかね、専門員の方がいらっしゃると思うんですけども、やっぱりそういう方たちを活用して、何か子どもたちが集まってくるような企画をぜひ立てていただいて進めていただきたいなというふうに要望します。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、もう少し進みます。

116ページ、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、119ページまでですが、2目も一緒にしましょう。児童措置費までですね。1目、2目に関して質疑はございませんか。
上委員。

○委員（上 疆委員） 119ページの1目の一番下ですけれども、19節の負担金、補助金及び交付金の子育て世帯臨時特例給付金ですが、これについては昨年と同じような形なんでしょうか。前は前年同様に消費税児童手当支給ということで受給者に渡って内容が1人1万円やったですかね、今回はどういうふうになっているんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 平成27年度につきましては児童1人当たり3,000円の給付となっております。平成26年度につきましては1万円で、臨時福祉給付金との併給調整を行いまして臨時福祉給付金の受給者には渡らないようになっておりましたが、今回は併給ができるというふうになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにごございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 同じところで子育て世帯臨時特例給付金ということですが、非常にいつも思うんですが、これの財源は何なのかと思ってみたら前ページに戻って国庫支出金、一般財源というのが出てくるわけですけれども、金額からいけば国庫支出金のほうになるのかと思うんですが、この3,300万円の財源というのはどうなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 全額国からの負担金となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 2目についてはよろしいですか。1目、2目。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 1目の017の子ども・子育て支援事業計画なんですけれども、今事業計画が策定される方向になっていますけれども、この会議の委員さんは平成28年度までが任期になっていると思うんですが、平成27年度、平成28年度の活動の内容とかは決まっていますか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 平成27年度につきましては、案件が上がってきたときにご審議いただくというふうになっておりますので、具体的な活動内容については今のところ決まっております。

ません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

それでは、3時15分まで休憩します。

休憩 午後2時59分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後3時15分

○委員長（門田直樹委員） 再開いたします。

人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） 先ほど、芦刈委員さんのご質問の中で人権センターの所長は市の職員がついているのかというご質問に、私は実際の運営面について社会福祉法人のほうに委託しているというご回答をしておりましたけれども、ちょっと回答が不十分でしたので、人権センターの所長は人権政策課長が兼務をいたしておりまして、当然辞令もいただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） それでは、120ページの3目教育・保育施設費から123ページ4目学童保育所まで、質疑はございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 123ページの一番上のほうに施設解体工事ってあるんですけども、これは五条保育園のあれですかね。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 旧五条保育所の解体工事になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 旧ですね、はい。旧五条保育所を解体した後、何かを建てるとか何か予定はあるんですか、建設予定とか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 解体した上で土地のほうは平成27年度中に売却する予定でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） わかりました。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 関連しますけれども、五条保育所、アスベスト等の使用はなかったんでしょうか。そういった部分を含めて解体工事をする上での安全対策とかも必要になってくるんじゃないかなと認識するんですけども。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 解体工事につきましては、工事設計監理等の委託をしております。設計監理を委託する上で、その辺も十分に慎重に対応した上で解体のほうを進めていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5目子ども医療対策費、122ページから125ページまでですが、5目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6目家庭児童対策費、ページが127ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3款民生費、3項生活保護費、1目生活保護総務費、2目扶助費、129ページまでですが、質疑はございませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 資料要求させていただいているんですけども、資料要求した4ページなんですけど、平成24年度から平成25年度は若干生活保護の受給世帯が横ばいとは言いませんけれども、そんなに多くはなかったんですけど、平成25年度から平成26年度にかけてやはりかなり世帯数が増えてきたということが一つあります。

それともう一つは、特に60代とかが非常に増えてきているんですけども、年度によって増えたということと、60代が非常に増えているという理由、原因は所管としてはどのようにお考えでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（阿部宏亮） ただいまのご質問につきまして、その原因というのは、これまでいろいろと調査はしているんですけども、特には、貯金等でしのいでおられたのがその貯金等の減少とか喪失そういうものが多いということと、あとは世帯主の疾病関係、その辺が原因ではなからうかというふうに思っております。あとは全体的に、高齢化が進んでおりますので、世代がその分上に上がってきているということも一因ではないかというふうに分析しておりますのでございます。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） あと、40代も平成24年度から平成25年度はちょっと減っていたんですけども、平成25年度から平成26年度というのは10件以上増えているんですけども、こういった世代間においても何か増えた理由とかというのはやはりある程度調査とかはされるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（阿部宏亮） その辺については、調査といいますか調査のしようがないんですけども、分析でいきますと一応生活保護の開始件数の中で、約22%ほどが他市町からの転入という方がおられるんですよ。だから、その辺のところも関連があるのかなというふうには思っておりますけれども。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 22%の人が生活保護世帯の人が、ほかの他市で生活保護世帯だった人が太宰府に転入してこられたという意味ですか。

○委員長（門田直樹委員） 福祉課長。

○福祉課長（阿部宏亮） はい、そういう方もおられますし、刑務所等に入っておられて、出所されてこちらのほうに来られたとかという方とかも結構おられます。

（「いや、実際におるんですよ」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、128ページ、3款民生費、4項災害救助費、1目災害救助費、131ページまでですが、4項災害救助費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款衛生費に入ります。1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、ページが130ページから133ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目保健予防費、132ページから135ページまでですが、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、134ページの3目母子保健費、137ページまでですが、3目について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 母子健康診査費、13の委託料の乳幼児健康診査委託料ってあるんですけども、これは病院に委託されていると思うんですけども、人数は何人という形で何か数字

が出ているのでしょうか。見込んであるのか、お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（井浦真須己） 10カ月健診の人数ですけれども、70人掛けることの12カ月ですので、840人を予算で見込んでおるところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） この乳幼児健診はもうずっとされていると思うんですけれども、その健診に来られるのに、交通手段がなくてなかなか出づらいつかというような声は届いていますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（井浦真須己） 実は昨年3月に横のアパートを解体していただいてというか、市のほうの管財課のほうで用地を取得して第2駐車場をつくっていただきました。それで、今確かに年に何日かは非常に満車になったりして、県道まで少し連なったりするときがありますけれども、大分駐車場の渋滞状況は解消されてきているかと思えます。ですから、そういう苦情といいますか、そういうことは少なくなっているかと思えます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにもございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 済みません、1つ戻ってもいいですか。

○委員長（門田直樹委員） はい、どうぞ。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 131ページの健康づくり推進費で398万2,000円、新しい事業として元気づくりポイントの計上が上がっているようなんですけれども、これは非常に健康づくりに付加価値をつけていくということでいい事業だなというふうに思っていたんですが、このポイントの上限であるとか使える範囲において介護保険料に支払えるとか、そういったことは何かありますか。済みません。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（井浦真須己） 今元気づくりポイントにつきましては、商工会の商品券にかえるということで一応3,000円を上限にさせていただいております。3,000円で終わってしまうということもありますので、それ以上頑張られてポイントを重ねられた方には5,000ポイントで何か景品なり励みになるような表彰をさせていただきたいなということで、今計画を各関係機関と調整しながら進んでいるところでございます。

ただ、今委員おっしゃっていただきました介護保険云々ということについては、まだそこま

で私どもの案の中では入っていないところがございます。今のところは地域健康部というところで、主に実施していきますけれども、市全体として取り組みが可能になりますならば、今後いろいろ可能性を考えてやっていきたいなというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。進んでいいですか。

それでは、4目老人保健費、137ページまでについて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

138ページ、5目環境衛生費、6目公害対策費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7目環境管理費、141ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費、140ページから143ページまでですが、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、142ページ、2目塵芥処理費、145ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

そうしたら144ページし尿処理費、147ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款衛生費、3項上水道費、1目上水道事業費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款労働費に入ります。1項労働諸費、1目労働諸費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

6款農林水産業費に入ります。1項農業費、1目農業委員会費について、ページは149ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2目農業総務費、3目農業振興費、4目都市近郊農業推進費、151ページまでの5目農地費までについて質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 149ページの3目の農業振興費、委託料の有害鳥獣駆除委託料のところになるかと思うんですけども、山手のほうに駐車場を持ってあって、イノシシの被害が駐車してある車に及ぶんじゃないかということで心配されている市民の方がいらっしゃるんですけども、そういう場合はこういう駆除の対策は受けられるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） 今猟友会等とあと北谷、内山農事組合に委託をして箱わなによる捕獲駆除を進めております。これは、あくまでも農産物被害への対策ということで、ただ結果的に、やはり農地の横に宅地があったりしますから、そういうふうに出没しているところについては家の横とかにはちょっと置けませんけれども、効果はありませんけれども、山にちょっと入ったところとか、水城から北谷まで四王寺山周辺に満遍なくと、あと宝満の周辺、内山、北谷地区に箱わなを設置して、捕獲駆除を進めています。だから、イノシシの捕獲駆除をしてイノシシの頭数を減らすという取り組みは結果的にはありますけれども、個人の方の車にどうかということで、設置ということは捕獲はしておりません。あくまでも全体的に、農産物被害の取り組みということで、やっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、150ページ6款農林水産業費、2項林業費、1目林業振興費、152ページ、153ページの2目林業管理費、3目緑地推進費までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、152ページ7款商工費、1項商工費、1目商工総務費、ページは155ページまでですが、2目の商工振興費、3目消費者行政費までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、154ページの4目観光費、ページがずっと行きまして159ページまでですが、質疑はございませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） まず1点目が、157ページの細目の15工事請負費の500万円というのはこれは具体的にどこなのかということと、それからあとページは159ページになりますが、細目の19ホテル等設置奨励金、これはずっとやり続けてあると思うんですが、実際に今までルートイングランティア太宰府さん以外の効果はどういったものがあつたか、2点お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） 観光施設、これは観光サインの設置であります、今年度について

は、駅は都府楼前駅から四王寺山の周辺のほうに行くところに、観光サインの整備をしたんですけども、来年度については、市内の点在しているサインとかをまた整備していきたいということで考えております。だから、どの辺というのはないんですけども、順次、新しいものにしながらししていきたいと思っています。

それとあわせてホテル設置奨励補助金ですけども、これが平成25年度からルートイングランティア太宰府のほうに交付しておりまして、今年が平成27年度3カ年目です、3年間交付するので最終年度になります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 最終年度ということで、じゃあもうその次の年度はもうないというふう  
に捉えていいんですか。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） そういうことです。平成27年度で3カ年間ですから、平成25年度か  
らしておりますから、そういうことで終わります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） ほかのホテルとかでやっぱりこういった奨励金があるんだったら太宰府  
に来たいなというようなそういう声は市のほうには上がってきているんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） 今のところそのホテルを検討しているというのは私は聞いておりま  
せん。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 戻って155ページの観光宣伝費の、使用料及び賃借料というのがあつ  
て、その中に自動車借上料と衣装賃借料、これは何かのイベントに使うんですか。外で宣伝に  
行ったときにお使いになるのか、例えばこちらで何かイベントのときにお使いになって、どの  
ようなときに、賃借料というのは……。

○委員長（門田直樹委員） 観光経済課長。

○観光経済課長（大田清蔵） この借上料は今度また5月のどんたくにも昨年も参加しましたが、  
また平成27年度も予定しております。そのときの貸し切りバスの借上料であります。それとあ  
わせて衣装借上料は太宰府万葉会のほうにですね、出演したそのときに万葉衣装を、着てもら  
ってその借上料ということで計上しております。

以上です。



○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかによろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、158ページ、8款土木費に入ります。1項土木管理費、1目土木総務費、161ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、162ページ、8款土木費、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費、2目道路橋梁新設改良費、ページが165ページまでですが、1目、2目について質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 2目の240の15節工事請負費、道路改良工事ですが、1億3,100万円について、箇所数を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（眞子浩幸） 8路線になっております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにごございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 2目の同じく補償、補填及び賠償金のところですがけれども、この建物移転補償が出ておりますけれどもこれの件数、お示してください。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（眞子浩幸） これは社会資本整備総合交付金で水城駅・口無線の分で、建物件数1件になっております。

○委員長（門田直樹委員） 藤井雅之委員。

○委員（藤井雅之委員） はい、わかりました、結構です。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「1件」「1件でこれ」「多分非課税でしょう、移転補償だから」「非課税じゃないにしても税率はかなり有利なはず……」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、164ページ、3目地域交通対策費……。

（「そなんあったかな大きいところが、あそこ」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） いいですか、何か答弁漏れとか何か、ない。

建設課長。

○建設課長（眞子浩幸） 水城駅・口無線の分で筑紫保育園の分になっております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 保育園。はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 164ページの3目から167ページまでについて質疑はございませんか。  
いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3項河川費、1目河川管理費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4項都市計画費、1目都市計画総務費、ページがずっと行  
きまして171ページまでですが、1目について質疑はありませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 169ページのところですね、木造戸建て住宅の167ページから169ページ  
にかけてですけれども、木造戸建て住宅の耐震改修補助金のこれは何件分を見込んで予算計上  
をされているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（今村巧児） 補助金につきましては10件分を計上いたしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） これは私はずごい先進的ないいい取り組みで、もっと推進していくべきだ  
など思うんですけれども、これはどういう形で今啓発といいますか考えておられるんでしょう  
か。

○委員長（門田直樹委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（今村巧児） この周知につきましては、広報を何度もまづお流ししております。  
また、本年ポスターを作成いたしまして全自治会に出向きまして、公民館等にもこの補助制度  
についての周知をいたしました。また、先般はケーブルステーションにも取材をいただきまし  
てそのような形でいろいろな形で広報をいたしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、170ページの2目公園事業費、下の3目下水道事業費、  
173ページまで4目の土地開発費まで質疑はございませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 173ページの地域狭隘道路の拡幅の15のセットバック工事というのは、

これはどこのセットバックになるんでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 建設課長。

○建設課長（眞子浩幸） 平成27年度にセットバックで寄附の出てきたところの分になりますので、予定としては件数で20件ほど考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、172ページ8款土木費、5項住宅費、1目住宅管理費、175ページまでですが、1目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、174ページ、9款消防費に入ります。1項消防費、1目常備消防費、2目非常備消防費、177ページまでですが、1目、2目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、179ページまでについての3目、4目までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、10款教育費に入ります。1項教育総務費、1目教育委員会費、178ページから181ページまでですが、1目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、180ページ2目事務局費、ページが185ページまでですね、2目について質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 当初予算説明資料の9ページに学校教育運営事業の中にタブレット端末の導入が太宰府東小学校にあるんですけれども、これが182ページの14、使用料、賃借料の中に入っているというふうに事前にお話を聞いたんですけれども、東小学校のほうでこのタブレット端末を導入するということは、これは東小学校のほうからやはりこちらのほうでやらせてほしいということが話があったのかということと、東小学校は以前に電磁波のことで保護者の方が敏感になってあることがあるので、このことがどうなのかなというふうに思っているんですけれども、そこら辺は何か見解はございますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） お答えいたします。

東小学校にタブレット端末を導入して活用するというふうな計画でございますけれども、市のほうとしまして特に学校のほうから要望があったわけではございません。市内の学校という

のいろいろな児童数たくさんございまして、教室的に余裕がある教室を使いましてタブレット端末あるいは電子黒板を使うとかというふうな授業ができる学校を選定いたしまして、学校のほうの意向を聞きまして選定をさせていただいたところでございます。

あと、電磁波の関係につきましては、特に学校側との特別の状況、会議等を開いたわけではございません。特に学校側から要望があっているわけでもございません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） この事業自体が平成27年度から平成29年度まで3カ年東小でされるというふうにお聞きしたんですけれども、この3年間東小で実施して、学力の効果などを見た上でその先ほかの6校なりに広げていくというような考え方でよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 今委員さんがおっしゃいましたように平成27年度から3年間、平成29年度までタブレット端末とか電子黒板、デジタル教科書等の導入を行って東小学校で活用をしていただいて、全小学校に導入するかどうかというふうな判断をこの3年間でしていただくような予定でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 今のに関連してですが、これ全校生徒に配付するんですか。全校生徒、全クラスが電子黒板になるのか、それか例えばパソコンルームみたいなところをちょっと改造してそこに電子黒板を設置して、その中の授業でするのか、教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 今考えておりますのは、今各学校のほうにパソコン教室がございましてけれども、このタブレット端末を導入して行う方法といたしますのは、それぞれの教室で行うような予定でございます。それで、タブレット端末の台数でございますけれども、1教室分児童数の40人を対象としまして40台とそれから先生用の1台、あと電子黒板につきましては今の計画では太宰府東小学校が3階建てになっておりますので、1階に1台ということで3台を導入して使うような予定でございます。それから、今のところ1学年から6学年までの全学年、同時にはタブレット端末は使えませんので、順次交代で使っていくような計画でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 最初、タブレット端末を使い出したのがたしか武雄市が最初だったと思うんですけれども、あそこの使い方はたしか反転授業というような名前だったと思うんですが、予習と復習を逆転させてやるような授業のやり方をすることでタブレットを用いたと思うんですが、ここも同じような考え方で進めるということですか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 佐賀県武雄市の活用の方法というのが、自宅と学校のほうで反転教育という方法をとっておりましたけれども、現在のところ太宰府市の方法といたしましては、そういった反転教育というところまでは今のところ考えておりません。あくまでも学校の教室で利用するという形を今のところ考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 181ページ、学校教育運営費、報酬、外国語指導助手の関係ですが、何人でどういう形でしてあるのかご説明ください。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 外国語指導助手、ALTは現在3名来ていただいております。アメリカからお二人、それからカナダからお一人を複数年の嘱託という形で雇用をしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 多分中学校でしようけれども、どのような内容でそういう授業を。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） ALT、外国語指導助手につきましては、学校の教室で授業をメインにやるという役割ではございませんで、英語の先生の助手をするという形で市内の中学校それから小学校のほうで活躍していただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） かなり易しい英会話はできるような規模までにするなんていう目標はないんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 委員会といたしましては、そういうふうになっていただくのが一番でございますけれども、やはり個人の差がございますので、英語に親しむと、会話になれるということをメインに指導していただいているというのが現状でございます。委員さんがおっしゃるように日常的に会話ができれば一番ではございますけれども、それに近づけばいいかなというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

済みません、私から一、二……。

タブレットの件ですけれども、これはスタンドアローン、要するに独立ですか、それともホストとローカルみたいに何らかの形でつながるとのわけですか。一気に先生が何か配信したり

とか、集計したりとか。ちょっと聞かせてください。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） それぞれ先生の端末と子どもたちの端末がつながって配信できればいいんですけども、当初はやはりそれぞれ単独で実施していくような予定でございます。

○委員長（門田直樹委員） 単独ね。じゃあ、ということは、有線、無線問わず、要するに何が心配かというたら無線のときは電磁波やから、要はそこなんです。無線LANじゃないということですね、そこだけ確認したいんですけども。

わからんならまた後からで……。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 済みません、確認をいたしまして後でご報告いたします。

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、進んでよろしい……。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 私も武雄の小学校のタブレットの反転授業の実際の講義の場に見に行っただんですが、見ていますと、女の子はローマ字変換でばちばちばちと打っている。隣の男の子はあいうえおを押さえて打っているということで非常に個人的に差があるんですよね。これ取り組むならやっぱり先生が1人で教えるんじゃなくて、何人かでそれぞれはかなり指導を直接せんと難しいんじゃないかなと思うんですが、そのあたりの具体的な運営方法まで検討されてあるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 今の時点では、当初やはり先生も初めてこういうタブレット端末とかあるいは電子黒板、デジタル教科書等を使いますので、まず先生がなれていただく、それから子どもたちがなれていただくために、それに向けて基礎的な指導をしていただくような業者に入っていて使い方の基礎的なものから応用まで、考えて教えていただくというふうな形をとっていかうと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。

184ページ、3目人権教育費、187ページまでですが、3目について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4目特別支援教育費、5目幼稚園費、189ページまでですが、質疑はございませんか。

不老委員。

○委員（不老光幸委員） 幼稚園費の中の幼稚園就園奨励費補助金ですけども、これは就園する児童に対して幾らって決まるとるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） それぞれの世帯の所得に応じて、支給される金額のほうは違ってまいります。最高額で年額30万8,000円が限度となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 不老委員。

○委員（不老光幸委員） それから、下の段の私立幼稚園運営費補助金、これは何に使うとかいな。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 市内5園幼稚園がございますけれども、幼稚園の施設の整備であるとか備品の購入、そういったものに使っていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

不老委員。

○委員（不老光幸委員） これ5園で182万5,000円ぐらいでいいとかいな。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 今のところこの金額で運営をしておりますが、確かに幼稚園からは増額の要望があっているところでございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 今のところなんですけど、やっぱり幼稚園、今はこども園ですかね、国が移行しているところなんですけれども、それで今同じ市内に住んでいて、保育園に入園している子どもさん、それから自宅にいる人、それから幼稚園といろいろパターンはあると思うんですが、この運営方法について保育園については市営、本市が子育て支援を重点的に置いとります。それで、幼稚園のほうに、今も不老委員からもありましたけれども、5つの園で180万円というのは、そこの一つの園にですね、運営状況もあると思いますが、将来的にですよ、こども園のほうに移行していく方向性にあるんですけれども、この私立幼稚園に対しての増額見込みは考えてらっしゃるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（中島康秀） 今のところ平成27年度については増額の予定はございませんが、今後認定こども園あるいは新制度の幼稚園のほうに移行されますと、今度はこちらの幼稚園費のほうではなく保育所と同様に教育保育施設費のほうからの支出になってくるかと思っております。そのときにはそちらのほうでの補助金等で対応することになると思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） もう一回戻りますが、189ページ一番上にある幼稚園就園奨励費補助金

ということについての理解ですが、これは子どもさんを預けている親に対してではなくて幼稚園に支払われるという私、理解をしておるわけですが、違うんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 下が幼稚園、上は個人……。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） いや、上。

○委員長（門田直樹委員） 上。

（「もらいよる」「年収が高いというだけで……」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） もらいよる。わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 保育児童課長。

簡単に。

○保育児童課長（中島康秀） 就園奨励費につきましては、幼稚園に就園している子どもがいる世帯に対しての支給になっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

188ページ、10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、ずっと行きまして193ページの2目教育振興費まで含めて質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 2点お願いしたいんですが、まず最初にですね、189ページの賃金のところですが学校図書事務職員、これが週5日いつているんだと思いますが、1日勤務時間はどの程度なんでしょうか、時間数。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） お答えいたします。

学校図書事務職員の勤務時間は学校によって若干違いがございますけれども、1日5.5時間の勤務でございます。大体朝9時、10時ぐらいから昼3時ぐらいまでの勤務時間でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 193ページの151の委託料、工事設計監理等委託料ですが、この分について全小学校教室の委託料の部分ですが、その内訳を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。



○社会教育課長（井上 均） 委託料の工事設計監理等の委託料の内訳ですけれども、これは平成27年度にします営繕工事の部分、それと国分小学校の増築関係の設計、それと空調関係の設計監理を含んでおります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） その内訳と金額を教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 金額につきましては、入札等もまだ未執行ですのでお答えはちょっとご遠慮させていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） そういう問題ですかね、予算としてどういう種類はあるんですか。例えば、全小学校教室の空調設備の委託料が幾らかという予算額を教えてください。当然これ載せないかんでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 予算額につきましては合計では1,190万円になっておりますので、詳細につきましてはまだ執行前でございますので回答は控えさせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） そういうことであれば。3件ということですね、3件ですね。わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません、今の関連の国分小の増築というのは何クラス分というふうを考えてありますか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 今のところ平成28年度には1クラスぐらい不足するということですが、将来的にも増えますのでそこところを今また推計もとりながらクラス数は検討していきたいというふうに思っております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費、192ページですね。それから……。神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません。小学校費でもいいですか。

○委員長（門田直樹委員） いいですよ。ページを教えてください。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません。189ページ小学校管理運営費の中の需用費に係るところですが、資料請求で5ページ、各小学校の事務費ということで出しているんですけれども、学校のほうでこの予算がなかなか足りないということで苦勞をされているみたいなんで

すけれども、ほかの自治体と比べても多いとは言えないというようなことを聞いていますけれども、この点は学校側からどのようなお話、ちょっと足りないというようなお話があっているのか、また今後増額とかというのを考えてあるのか、その点お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 11節の需用費の予算が足りないというふうなお話というのは全ての学校からあるわけではございません。学校によってはもう少し増額をしてほしいとかそういうふうな話はございますけれども、現在のところ特に近隣の市町と比較いたしましても特別低い予算ではございませんので、この金額でいこうと思っておりますし、学校のほうで特別な授業等をするようであれば増額等もありますので、そういったところで対応していきたいというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 特別に授業がまた増えるとかというような場合は年度途中でそれは受け入れは可能ということですか。

○委員長（門田直樹委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 年度途中で特にその授業を行うということはほとんどございません。やはり次年度の予算を要求する際に出していただきますので、基本的には新年度予算を作成する際に学校等の要望をお聞きしまして予算計上を進めていく予定でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ちょっと、皆さんお諮りします。

何とか今日、歳出を終わらかしたいと思うたりしよんですが、どうしますか。もう4時になりましたが。協議会のほう、協議会ですかね。

（「はい、議員協議会」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 議員協議会は10分ぐらいでという予定だそうですが、どうします。あと30分ぐらい、行きますか。

（「頑張りましょう」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 頑張りますか。進めていいですか。休憩する。

（「休憩入れましょう」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 休憩入れましょう。じゃあ今ちょうどかな。

（「そうですね、15分ぐらい」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、15分まで休憩します。

休憩 午後4時01分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後4時14分

○委員長（門田直樹委員） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 先ほどの太宰府東小学校に導入予定のタブレット端末の関係でございますが、今のところ無線LAN環境にして授業をとり行っていく計画でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） じゃあもう少し。周波数帯域というのは何GHzとかわかります。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） 細かいところまでは今の段階では私調べておりません。申しわけございません。

○委員長（門田直樹委員） わかりました。そういうのはしかし父兄の了承というか、敏感なわざわざ東小でという気もせんじゃないんやけれども。特にそれを使う授業に当たって父兄の同意を得るようなことは別に考えておられないんですかね。

学校教育課長。

○学校教育課長（森木清二） このタブレット端末あるいはデジタル教科書、電子黒板を使うという事で体に影響があるというふうな見解は今のところありませんので、そういう形でやっついこうというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） わかりますけれどもね、今までのずっと繰り返しをそれをやったから。ただ、わざわざ太宰府東小学校で何でやるのかなという気も。わかりました。また何かの機会があったらお聞きします。

社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 済みません、今さっき193ページの小学校施設整備費の中の委託料、工事設計監理等の委託料の中で3件と申し上げておりましたけれども、2件でしたのでおわびをいたします。どうも申しわけございません。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 済みません、国分小学校の設計監理料は私が入っと思いましたが、勘違いいたしておりました。どうも申しわけございません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですね。

（「じゃあ国分小じゃなくて、何なの」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 2件はですね、営繕工事と空調関係の設計監理業務委託です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

それでは、続きます。

192ページ、10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費、192ページから197ページまでの2目教育振興費まで含めまして質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） また同じですが、197ページの151、委託料です13節の。工事設計委託料

の内訳をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 中学校のほうは営繕工事の設計と空調関係の設計と、太宰府西中学校のほうのプール改修の設計監理業務委託の費用でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

196ページ、10款教育費、4項社会教育費、1目社会教育総務費、ページがずっと行きまして201ページまでですね。1目について質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 199ページ、いきいき情報センター管理運営費、私以前からいきいき情報センターのコピー機が古いということで13年とか17年使っておるという話がありましたが、コピー機は新しくなるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） いきいき情報センターの2階に置いてありますコピー機については、平成27年度入れかえの予定となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 平成27年度というのはいつのことなんですか。

○委員長（門田直樹委員） この予算じゃないの。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） いつ、入れかえられるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 月ですか。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 何月。

○委員長（門田直樹委員） 入れかえ時期ね。

文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 済みません、ちょっと月までは把握しておりません。

○委員長（門田直樹委員） わからないということですね。

よろしいですか。

ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 199ページ、140社会教育団体支援費の一番下の通学合宿推進補助金なんですけれども、今市内で1カ所ですかね、されているのが。これは、今されているところを継続してされるのか、また別のところでも展開を今後されていく計画なのか、そのところをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 通学合宿の推進につきましては、これは補助金として上げております。運営のほうは自治会とかが運営されておりますので、自治会のほうの実行委員会とか立ち上げられますので、そちらのほうで検討されると思います。それと、現在上げている予算は2カ所今のところ計画をしております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 通学合宿の今の2カ所運営ですね、自治会のほうとか地域の方が取り組んでされているんですけれども、これは今後その自治会のほうにしませんかというふうに声をしていくのか、されるんだったら補助を出しますよというようなスタンスか、どちらでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） これにつきましてはですね、運営するためにはいろいろ難しい問題がありますので、私としては各自治会でしてもらったほうが子どもの教育のためにはいいと思いますので、してもらいたいですけれども、ただ運営のほうでは、大変ご苦労をかけるので、なかなかそこまではちょっと言いにくいというようなところはあります。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） 130の19なんですけど、負担金、補助金及び交付金、キャンパスネットワーク会議負担金80万円とあるんですけど、これは学生キャンパスネットワークの活動費なのか、別に学園同士とのキャンパスネットワーク会議の費用なんのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 市と、学生じゃなくて大学ですね、市とそれぞれの大学のキャンパスネットワーク会議への負担金です。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） じゃあですね、結局その負担金というのの活動の内容をどういう方向性を見ているのか、今までずっとこれ上がってきていたんですけども、もうかれこれ10年近くになるんじゃないかと思うんですけど、その80万円の使途というのはどういうふうな形で、学生に戻るんじゃないかと、学園と例えば行政だけでやっているということですか。その内容をちょ

っと教えてもらえませんか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 市から80万円と各大学から10万円ずつ、それでキャンパスネットワーク会議の会費というか、予算として、その中で、大きなものは例えばキャンパスネットワーク情報ということで年2回広報紙を出しております。あと、その下部組織といいますか、太宰府キャンパスネットワーク会議学生連絡会でキャンパスフェスタをやったり市民まつりへ出たり、そういったところへ補助金というか、学生連絡会に援助したりと、そういったところが主な活動費になってきております。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） じゃあ太宰府キャンパスネットワーク会議学生連絡会のほうに助成しているという形なんですね。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） そうです。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） ちなみに、その中で今学校が何校あるのか、学園でいくのか、短大、大学、専門学校とあるんですが、これ今太宰府市内に正確にはどんだけありますか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 平成26年度で7校ですね。大学は大学、例えば筑女さんみたいに大学と短大と持っているところはそれぞれ1校、1校という扱いですね。

○委員長（門田直樹委員） 小柳委員。

○委員（小柳道枝委員） わかりました。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 199ページの141社会教育委員等関係費なんですけど、まず社会教育委員と地域活動指導員、指導主事とあるんですが、済みません勉強不足で、どういった活動をされてある方なのか教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 地域活動指導員につきましては、今現在市役所のほうの社会教育課のほうに1名置いております。それと、南児童館のほうに2名配置をいたしております。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） はい、ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今の賃金のところの指導主事なんですけれども、前年度より金額が増え

ているようなんですけれども、人数が増えているのか、また配置だけが増えているのか、そこ
のところをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 指導主事につきましては、平成27年度から社会教育課のほうに1人
配置を考えております。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） ごめんなさい、社会教育委員は……。

（「どういう人ですか」と呼ぶ者あり）

○委員（長谷川公成委員） いや、答弁がなかった。

（「どういう人で、どういう活動をするのか」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井上 均） 済みません、社会教育委員は、9名の方が活動をされております。

主に業務といたしましては、教育委員会のほうに社会教育的な活動の助言をするような団体
になります。それで、今平成25年度から平成26年度にかけて、各自治会の状況を調査されて
おります。そして、今現在それを取りまとめをされておりますので、平成27年度中には意見を
取りまとめまして、教育委員会のほうに提言をされる予定でございます。

○委員長（門田直樹委員） 進んでいいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 201ページが一番最後のところ、文化協会補助金50万円について、いい
んですね。

○委員長（門田直樹委員） いいですよ。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） ずっと前から言っているんですが、文化協会の補助金が少ない。一桁違
うんじゃないかと、本当に太宰府の伝統芸術あるいは現代芸術、たくさんの方が入るとるわけ
ですけれども、話を聞くと以前1,000人おった人が500人切ったというような話も聞きますし、
ここは太宰府の伝統文化を守るあるいは新しい文化をつくっていくというところで非常に大事
なところだと思います。話を聞くと那珂川町は200万円近くあるような話も聞くんですが、こ
このところはもうちょっと何とか増額できないんでしょうかということをやっと言ってきた
んですが、ずっと50万円に来ていたということなんですが、どうなんですか。今はもう
本当高齢化して会員も減っている、もうちょっとここは力を入れるところではないかと思うん
ですが。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 確かに補助金につきましては50万
円が変わっておりません。会員の減少ということもここ数年減ってきておったんですが、平成
26年度からまずは会員を少しでももとに戻すというか、また増やしていこうということで文化

協会会長さんを初め役員の皆さんと文化学習課もお手伝いする形で、また再度、やめられた方に声をかけたり、そういったことでまずは実績というか、活動を、会員をまた増やしていったらいいと。当然そうなればまたそこで活動がなされれば、補助金がどうのこうのという話が出てくるかとも思いますけれども、まずはそういった会員をまた再度増やして活動を広げていこうということで文化協会とは連携してやっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 以前このところに少年少女合唱団とかブラスバンドというのがあったわけですが、私はやっぱりいろいろな行事に貢献するということでいえばブラスバンドの支援というのは大いにあり得ることじゃないかなと思っているのですが、そのあたりはどうなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） いわゆる市民吹奏楽団ですかね。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） そうです。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 補助金としてはなくなっておりますが、例えば平成26年度でいきますと12月に市民ホールでコンサートを開かれました。そういったときの費用ですね。まず会場使用料を免除、そして舞台補助員等については市のほうからお出しするというので援助しております。その当日の運営とかでもチケット切りとかそういったのを市の文化学習課でお手伝いして、そういったところでバックアップはしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。

200ページ、2目青少年教育費、203ページまでですが、2目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 202ページ、3目青少年対策費、205ページ、4目の図書館費まで質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） これも同じく先ほどと一緒になんですが、図書館のコピーが古いということとを申し上げたんですが、どんなふうになりますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長。

○文化学習課長併中央公民館長併市民図書館長（木村幸代志） 図書館のコピー機については平成27年度に新しく入れかえる予定はございません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） かえていただきたいと思います。古いです。

○委員長（門田直樹委員） 要望ですね。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

進みます。

204ページ、5目公民館費、ずっと行きますして209ページまで、5目質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、213ページまでですが、6目、7目について質疑はありませんか。

芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 211ページ、水城跡整備事業費、一番下のほうに細目13工事設計監理等委託料と、15工事請負費、合わせて1億6,500万円ぐらいのこの分が、水城跡保存整備基本設計の中にある東門の土塁の延長と展示場の関係に使うということでございましたんですが、一般質問でも不十分なあれでしたんですが、現実にはいっぱいいろいろなものが残っているのに、その展示場を果たしてつくる意味があるのか、あるいは土塁を延ばす意味があるのか、そのあたりについて聞いているわけですが、そもそもこの計画自身が、聞きますと水城の保存整備だけとして立てられていて、やっぱり観光なり交通なり産業なり、いろいろな複合的なものとして考える必要があるんじゃないかということをお聞きいたしますが、もうちょっと総合的に私は検討する必要があるんじゃないかというふうには思っているわけなんです、これで進められるのかどうかをお聞きいたします。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） ご質問の件に対してお答えいたします。

まずもって、水城跡の整備につきましては委員さん方ご承知のとおり、この半世紀公有化ということで史跡の保存に努めてきたところでございます。やっとならから整備という形で地域の方々に初め来訪者の方々に還元をするということで、史跡の活用というところに向けて整備をしていきたいということですので、今回提案させていただいております水城跡の実施設計につきましては、福岡県、大野城市とともに歩調を合わせて整備計画をつくったものでございますので、現在としてはこの計画をですね、粛々と進めさせていただきたいというふうには存じております。

それともう一点、史跡の計画ではございますけれども、要所要所に周辺の交通網の整備であるとか駐車場の確保であるとか、そうしたものでこの計画にうたっておりますので、総合的

な史跡の活用ということに向けまして整備を進めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 平成26年度、史跡の買い上げ地の中に水城三丁目の田んぼ4枚、800坪、1億5,000万円という史跡の買い上げをこの平成26年度中にするようになってるわけですが、この東門と隣接してそこの関連した計画というのはされてあるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） 具体的に今言われました土地についてはですね、当面史跡の見学用の広場であるというふうな形で活用を図りたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） 広場ということは、何か造成工事か何かされるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） 広場ですので当然そういった、今田んぼですので田んぼの中では車等も入れませんし人も入れませんので、最低限の工事は必要だろうというふうに考えております。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員。

○委員（芦刈 茂委員） それはこの平成27年度予算の中には入っているんですか。

○委員長（門田直樹委員） 文化財課長。

○文化財課長（菊武良一） 平成27年度の計画の中には、今言いました土地の分は含んでおりません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、7目までについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、本日は一般会計の10款4項7目までとし、3日目の予算特別委員会は16日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 本日はこれもちまして散会いたします。

散会 午後4時34分

~~~~~ ○ ~~~~~